

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

口腔粘膜炎の予防および治療におけるエピシルの有用性評価

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院薬剤部

【研究責任者】田中 守（薬剤部長）

【研究目的・意義】

がん治療を受ける患者さんの診療録(カルテ)の情報を用いて、副作用の口腔粘膜炎に対する治療方法を評価します。この調査を通して、患者さんの口腔粘膜炎の治療に役立つ情報が得られると考えます。

がんの治療や骨髄移植の際に行われる化学療法、放射線療法では、副作用として口腔粘膜炎が発生します。激しい痛みを引き起こす可能性があり、場合によっては非経口や経腸栄養でのケアが必要になるなど問題となっています。

現在口腔粘膜炎に対する治療法は十分とはいえませんが、近年承認、販売された創傷被覆・保護材であるエピシルは、従来の療法を超える疼痛緩和の効果をもたらし、患者さんの生活の質を改善する新たな治療法として注目されています。

本研究では、愛媛大学医学部附属病院にて使用されるエピシルの有用性を検証し、化学療法、放射線療法によって起こる口腔粘膜炎の治療法の有用性を検討します。

本研究を通してエピシルの臨床における効果を検証することで、口腔粘膜炎治療の進展を目指します。

【調査の対象となる患者さん】

2018年1月～2021年12月までの期間に愛媛大学医学部附属病院においてエピシルが投与された患者さんを対象としています。

【研究方法】

調査の対象となる患者さんの電子カルテから、エピシルを使用した症例、疼痛スコア、口腔粘膜炎の発症期間を調査し、口腔粘膜炎の程度を調査します。

患者背景として、年齢、性別、がん種、薬剤投与量、対象薬剤減量の有無、対象薬剤休薬の

有無、投与クール数、前治療の有無、喫煙習慣の有無、放射線治療の有無、照射線量、飲酒習慣の有無、レジメン名等を調査します。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。なお、匿名化した情報の一部は、研究分担者である松山大学薬学部へパスワードを付加したファイルにてUSBもしくはCD-R等で郵送、提供することがあります。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹範明
松山大学薬学部 渡邊真一

【研究実施体制】

研究機関: 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者: 薬剤部長 田中 守

791-0295 愛媛県東温市志津川、電話番号: 089-960-5730

研究分担者: 愛媛大学医学部附属病院 助教 飛鷹範明

松山大学薬学部 准教授 渡邊 真一

松山大学薬学部 加地 康一

松山大学薬学部 学部長 山口 巧

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川、電話番号: 089-960-5731